



令和7年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和6年12月13日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL <https://corporate.kin-ei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 作田 憲彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 藤下 修 (TEL) 06(6632)4553
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年1月期第3四半期の業績(令和6年2月1日～令和6年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年1月期第3四半期	2,707	0.0	240	4.0	249	8.5	165	9.4
6年1月期第3四半期	2,706	8.7	231	55.3	230	48.6	151	25.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年1月期第3四半期	59.42	—
6年1月期第3四半期	54.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年1月期第3四半期	5,631	2,588	46.0
6年1月期	5,867	2,449	41.7

(参考) 自己資本 7年1月期第3四半期 2,588百万円 6年1月期 2,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
7年1月期	—	0.00	—	—	—
7年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年1月期の業績予想(令和6年2月1日～令和7年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,520	△1.4	240	△6.2	250	△1.7	155	0.0	55.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

7年1月期3Q	2,821,000株	6年1月期	2,821,000株
7年1月期3Q	32,939株	6年1月期	32,817株
7年1月期3Q	2,788,098株	6年1月期3Q	2,788,315株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、企業収益は緩やかに改善し、設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響には引き続き注意が必要であり、海外における政情不安や中国経済の成長鈍化などによる海外景気の下振れリスクが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しております。

この間、当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図りましたところ、当第3四半期累計期間の売上高合計は2,707,134千円（前年同期比0.0%増）となり、費用面におきましても、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は240,805千円（前年同期比4.0%増）、経常利益は249,763千円（前年同期比8.5%増）、四半期純利益は165,667千円（前年同期比9.4%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“名探偵コナン 100万ドルの五稜星（みちしるべ）” “劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦” “変な家” “キングダム 大將軍の帰還” “ラストマイル” “インサイド・ヘッド2” “怪盗グルーのミニオン超変身”などの作品を上映して観客誘致に努めました。また、周辺商業施設と連携し販売促進を図るとともに、フード売店の販売強化に注力しました。また、娯楽場事業におきましては、劇場と一体となった集客を一層推進いたしました結果、収入合計は1,178,764千円（前年同期比1.4%減）、営業原価控除後のセグメント利益は132,061千円（前年同期比16.7%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、計画的な設備等更新に取り組み、より安全・快適なビルづくりを推進するとともに、賃貸収入の確保に向けて空室部分への後継テナントの誘致に注力した結果、収入合計は1,528,370千円（前年同期比1.1%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益は335,286千円（前年同期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して235,841千円減少し、5,631,714千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して374,921千円減少し、3,042,931千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して139,080千円増加し、2,588,783千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年1月期の業績予想につきましては、令和6年9月9日に「令和7年1月期 第2四半期（中間期）決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和6年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,248	60,393
売掛金及び契約資産	117,294	90,859
商品	4,081	4,661
短期貸付金	718,131	576,278
その他	51,797	47,247
貸倒引当金	△810	△630
流動資産合計	965,743	778,810
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,747,440	2,610,007
機械及び装置(純額)	45,193	104,148
工具、器具及び備品(純額)	73,408	53,622
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,989,791	3,891,526
無形固定資産	5,802	2,554
投資その他の資産		
差入保証金	850,372	890,112
その他	55,847	68,710
投資その他の資産合計	906,219	958,822
固定資産合計	4,901,813	4,852,904
資産合計	5,867,556	5,631,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,456	91,391
短期借入金	350,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	262,500
未払法人税等	52,630	50,782
賞与引当金	9,300	22,900
その他	663,572	436,090
流動負債合計	1,263,959	1,113,665
固定負債		
長期借入金	243,750	-
退職給付引当金	65,349	69,263
受入保証金	1,554,040	1,570,002
資産除去債務	290,000	290,000
その他	753	-
固定負債合計	2,153,893	1,929,265
負債合計	3,417,852	3,042,931

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和6年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,965,230	2,103,016
自己株式	△112,167	△112,637
株主資本合計	2,441,419	2,578,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,284	10,048
評価・換算差額等合計	8,284	10,048
純資産合計	2,449,703	2,588,783
負債純資産合計	5,867,556	5,631,714

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年2月1日 至 令和6年10月31日)
売上高	2,706,497	2,707,134
営業原価	2,256,169	2,239,786
営業総利益	450,327	467,348
一般管理費	218,725	226,543
営業利益	231,601	240,805
営業外収益		
受取利息	1,405	2,704
受取配当金	204	260
負担金収入	—	7,100
雑収入	1,361	3,026
営業外収益合計	2,971	13,091
営業外費用		
支払利息	4,278	4,119
雑支出	10	13
営業外費用合計	4,288	4,133
経常利益	230,284	249,763
特別損失		
固定資産除却損	7,111	6,340
特別損失合計	7,111	6,340
税引前四半期純利益	223,172	243,423
法人税、住民税及び事業税	79,028	85,422
法人税等調整額	△7,288	△7,667
法人税等合計	71,739	77,755
四半期純利益	151,433	165,667

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(令和5年2月1日から令和5年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,035,388	—	1,035,388	—	1,035,388
ビル共益費等収入	—	293,788	293,788	—	293,788
娯楽場及びその他事業収入	159,662	18,729	178,392	—	178,392
顧客との契約から生じる収益	1,195,050	312,518	1,507,569	—	1,507,569
その他の収益	—	1,198,927	1,198,927	—	1,198,927
外部顧客への売上高	1,195,050	1,511,446	2,706,497	—	2,706,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,195,050	1,511,446	2,706,497	—	2,706,497
セグメント利益	113,127	337,199	450,327	△218,725	231,601

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(令和6年2月1日から令和6年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,055,014	—	1,055,014	—	1,055,014
ビル共益費等収入	—	297,835	297,835	—	297,835
娯楽場及びその他事業収入	123,750	20,568	144,318	—	144,318
顧客との契約から生じる収益	1,178,764	318,404	1,497,168	—	1,497,168
その他の収益	—	1,209,966	1,209,966	—	1,209,966
外部顧客への売上高	1,178,764	1,528,370	2,707,134	—	2,707,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,178,764	1,528,370	2,707,134	—	2,707,134
セグメント利益	132,061	335,286	467,348	△226,543	240,805

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年2月1日 至 令和6年10月31日)
減価償却費	228,396千円	219,850千円